

平成27年度

# 「人権の花」運動実践報告



別府市立別府中央小学校

## 1. 人権教育の基本構想

学校教育目標
喜んで登校し生き生きと学ぶ子どもの育成

児童の実態
<ul style="list-style-type: none"><li>・明るく素直な子どもが多い。</li><li>・限られた友だち関係の中で、自分の思いを伝えるのが苦手な子どもが多い。</li><li>・感情的になったり自己中心的になったりする時、激しい言葉で攻撃して友だちといさかいを起こしてしまう子どもがいる。</li><li>・新しい物事や難しそうなことに挑戦しようとする気持ちが弱い子どもが多い。</li><li>・自分に自信が持てず、教師の指示を待ったり、発言が少なかったりする子が多い。</li></ul>

人権教育の基本方針
人権教育のめざす「差別をしない、差別を許さない、差別に負けない」という人間尊重の精神と本校道徳教育の精神である「自他共に尊重し、自分の生き方を追求する」ことを共通のテーマとして「互いに心の通い合う、優しい子」の育成をめざす。

人権教育の実践課題
自分が好き、友だちが好き、学校が好きな子どもの育成
<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもたち一人ひとりが自信を持ち、互いに認め合い、支え合う温かい集団づくり</li><li>・正しいこと間違ったことを見分け、自分を見つめ直すことのできる子どもづくり</li><li>・基礎学力を身に付け、意見を交わしてともに考え合うことのできる子どもづくり</li></ul>

## 2. 「人権の花」運動の目的

子どもたちが花を栽培する活動を通して、相手の立場を考慮することや、協力し合うこと、感謝することの大切さに気づき、思いやりの心を育むとともに、互いの人権を尊重することができる。

## 3. 「人権の花」運動でめざす子ども

- ・命の大切さや、自分が大切な存在であることに気づくとともに、相手も同じように大切な存在であることを認め、互いの人権を尊重する行動ができる児童を育成する。
- ・なかよし班で協力し合って花を育てることにより、生命の尊さを実感し、相手の立場を考えて協力したり助け合ったりしようとする児童の育成を育成する。

#### 4. 活動のスローガン

「咲かせよう、人権の花 咲かせよう、なかよし班の花」

#### 5. 主な活動

- なかよし班ごとに、プランターに苗を植え、心をこめて育てる。
- 花の成長を観察し、記録をとるとともに、花の絵（観察記録的なもの）や作文等を作成する。
- 育てた花の種にメッセージをつけ、風船につけて飛ばす。

#### 6. 年間活動計画

月	活 動 内 容
4	・「人権の花」運動打ち合わせ
5	・「人権の花」運動実施計画およびスローガンづくり
6	・「人権の花」運動指定書交付式（6月9日 10:50～11:30） ・第1回苗植え（ポーチュラカ・ピオラ・球根） ・栽培（水やり等）、観察をもとに記録（作文・絵・写真等） ・人権授業（講師 人権擁護委員）低 or 高
7	・栽培（水やり等）、観察をもとに記録（作文・絵・写真等）
8	・栽培（水やり等）、観察をもとに記録（作文・絵・写真等）
9	・栽培（水やり等）、観察をもとに記録（作文・絵・写真等）
10	・栽培（水やり等）、観察をもとに記録（作文・絵・写真等） ・タネ収穫 ・人権授業（講師 人権擁護委員）低 or 高
11	・第2回苗植え（ピオラ・チューリップの球根） ・栽培（水やり等）、観察をもとに記録（作文・絵・写真等）
12	・人権集会 ・「人権の花」終了式（感謝状贈呈式・風船とばし） ・栽培（水やり等）、観察をもとに記録（作文・絵・写真等）
1	・「人権の花」運動報告書作成 ・栽培（水やり等）、観察をもとに記録（作文・絵・写真等）
2	・栽培（水やり等）、観察をもとに記録（作文・絵・写真等）
3	・タネ収穫

## 7. 活動の様子

### (1) 「人権の花」運動指定書交付式

# 6月9日 「人権の花」運動指定書交付式

## 指定書交付



児童会長へ指定書交付されました。



こころちゃんや人権まもる君や人権あゆみさんが来てくれました。



みんなの前で「スローガン」が発表されました。

今日は、別府中央小学校に来ていただき、ありがとうございます。  
私たちは、なかよし班で協力してこの「人権の花」を育てていきます。



## (2)「人権の花」苗植え

6月9日 第1回「人権の花」苗植え



天気が悪かったため、体育館にシートをひいて、苗を植えました。

なかよし班で協力して植えました。班長さんが、みんなにやさしく植え方を教えてくれました。



プランターに班の名前とお世話をする時のめあてを書きました。これから協力してお世話をしていきます。花が咲くのが楽しみです。



プランターを体育館の周りに並べて交代で水やりをしました。



7月には、こんなきれいな花がいっぱい咲きました。体育館の周りが「人権の花」でいっぱいになりました。



### (3)「人権の花」出前授業

10月28日 「人権の花」出前授業



人権擁護委員さんがたくさん来て、2年生に出前授業をしてくださいました。紙芝居や大切なお話をしてくれました。

人権擁護委員さんが、「ぐりぐりもりのおばけ」というお話の紙芝居をしてくださいました。紙芝居の後、「みんながなかよくしたり、困っている人がいれば、助けてあげたりすることの大切さ」を教えてくださいました。



人権まもる君も出前授業に来てくれ、子どもたちも大喜びでした。



かみしばいを見て、はじめは、もぐらのもぐくんがいじめられていたけれども、まもるくんがたすけてあげて、すごいなあって思ってかんどうしました。ぐりぐりおばけの中に、もぐらのかじくんがいて、びっくりしました。

それから、まもるくんがたすけてくれたおかげだと思いました。

さいごに、まもるくんともぐらのかそくと、もりのみんなで歌をうたって、すてきでした。きてくれて、ありがとうございました。

あゆみちゃんとまもるくんが、いじめられているもぐらをたすけるけど、おおかみはあばれんぼうだけど、やさしくして、やっぱりたすけられたら、人からうれしく思われるから、人がこまっている時は、たすけたほうがいいとわかりました。

この学校に人けんをおしえるために、来てくださってありがとうございました。

すごく楽しいかみしばいをしてくださって、ありがとうございました。



#### (4)「人権の花」第2回苗植え

11月17日 「人権の花」第2回 苗植え



第2回目の苗植えをしました。はじめに、児童会の運営委員から苗植えの仕方やお世話の仕方の説明がありました。そして「みんなで協力してお世話していきましょう」とあいさつがありました。

今日は、あいにくの雨で体育館の中での苗植えとなりました。なかよし班ごとに6年生のリードで植えて行きました。



今回は、「ピオラ」の苗と「チューリップ」の球根を植えました。





植えた後、班ごとに「めあて」を書いたプラカードもつけました。



体育館の前に班ごとに並べました。これから、みなでお世話をがんばっていきます。



## (5)「人権の花」運動終了式

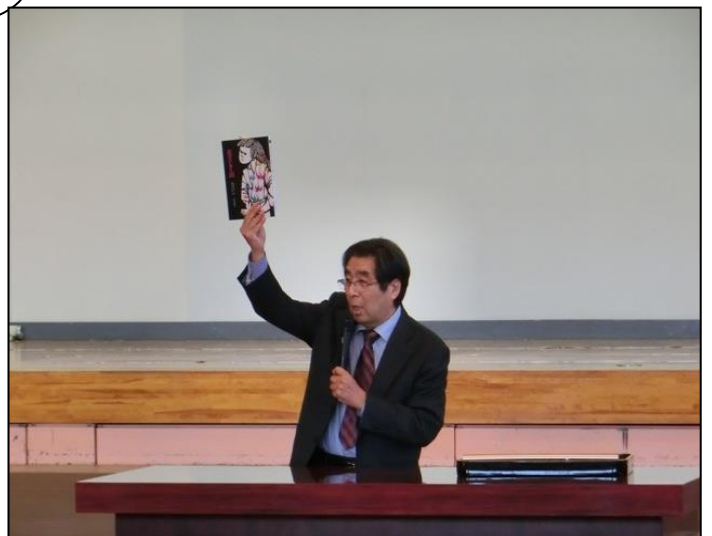
12月9日 「人権の花」運動終了式

今年度、中央小学校では児童会（なかよし班）が主体となって取り組んできました。この運動を通して自分たちが感じたことや考えたことを発表しました。

### 感謝状交付



今回の「人権の花」をそだてていく中で、「協力して育てる命の大切さ」を学びました。これからも学校生活にいかしていきたいと思えます。





来賓を代表して、人権擁護委員さんがあいさつをしてくれました。お話の中で1冊の本を紹介してくれました。「花さき山」のお話です。

山菜をとりに行って山んばに出会ったあやのお話です。やさしいことをすると美しい花がひとつ咲くというすてきなお話です。幼い妹のために祭りの着物をがまんしたせつなさも、花さき山はわかってくれていて、美しい花をさかせてくれるというお話が、自分たちが取り組んできた「人権の花」と通じるものがあるなあと感じました。



「人権の花」運動終了式には、6月の指定書交付式と同じように「ころちゃん」や「人権まもる君」「人権あゆみちゃん」が来てくれました。

大分法務局の方や人権擁護委員さん、大分県人権・同和対策課や別府市人権同和教育啓発課の方など、今日の終了式・この後の風船とばしのために、たくさんの方が別府中央小学校に来て下さいました。



(6)「人権の花」運動風船とばし

12月9日 「人権の花」風船飛ばし

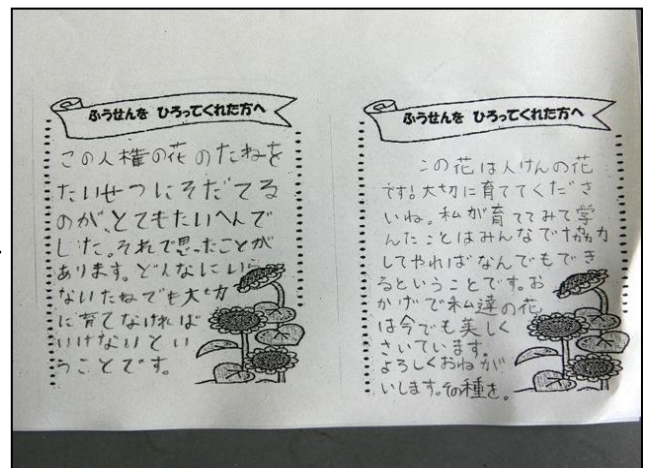


終了式の後、みんなで運動場に出て「風船とばし」をしました。なかよし班ごとに並んで、班長さんから風船をもらいました。風船には、自分たちで書いた手紙とたねが入っています。

風船には、人権まもるくんとあゆみさんの絵が書いてあります。それから、この風船は。紙でできていて、落ちた後に土にかえるそうです。また、動物たちが間違っても食べても病気になるそうです。みんなで運動場に出て「風船とばし」をしました。なかよし班ごとに並んで、班長さんから風船をもらいました。風船には、自分たちで書いた手紙とたねが入っています。



風船を拾ってくれた人に、「人権の花」運動の心が伝わり広がっていくよう、一人ひとりが心をこめて手紙を書きました。





風船とばしの時には、こころちゃんや人権まもるくん・あゆみさんとふれあうことができました。式ときには、そばに行けなかったため、握手をしたり記念撮影をしたりして大喜びでした。



先生の合図で、みんないっせいに飛ばしました。風船は、鶴見山や由布山の方に飛んでいきました。「四国の方にも飛んで行くかなあ」そんなことを思いながら飛ばしました。

12月9日は、晴天にめぐまれ、おまけに風もほとんどなくて、絶好の風船飛ばし日よりになりました。風船も気持ちよさそうに空高く飛んでいきました。





### 【みんなの手紙から】

#### 【1年】

- ぼくたちは、みんなでおはなをうえました。たのしかった。
- ぼくは、ともだちにやさしくすると、ともだちもやさしくなりました。

#### 【2年】

- ぼくは、はんで花のうえかえをしました。とてもたのしかったです。たねをひろったら、うえてください。
- 「人権の花」の活動で、人をたいせつにすることがわかって、よかったです。

#### 【3年】

- 人けんの花は、みんなでそだてた花です。ひろってくれた人ありがとうございます。キレイにさかせてください。
- 私が人けんの花活動で思ったこと・学んだことは、花はとてもじゅみょうが短いから大切にしないといけないことです。

#### 【4年】

- ぼくは、人権の花をうえました。ぼくは、この活動で思ったことは、やっぱり命は大事だなーと思いました。
- この花は人けんの花です。大切に育ててくださいね。私が育ててみて学んだことは、みんなで協力してやれば、なんでもできるということです。

#### 【5年】

- これをひろった人は、大切に育てて下さい。学んだことは、花にも命があって、水やりをわすれてしまうと、かれてしまったので、拾ってくれた人には、からさないできれいな花をそだててほしいです。
- 花にはいのちがあります。だから大切にそだててください。そだてたら、きっとうれしくなると思います。ぼくも花がさくよう願っています。

#### 【6年】

- 私たち別府中央小学校全児童は、これからも班で協力しながら人権の花を大切に育てて行きます。

### 【風船とばしを終えて、みんなの感想】

- 私は、もしだれかが拾ってくれたら、花を育ててほしいです。そう思いながらとばしました。花がたくさんになるといいなと思いました。大切に育ててほしいです。 (4年)
- ぼくは、ふうせんにこんな思いをこめながらとばしました。「けんかをしないようなせかいにしたいな。」ふうせんをもらった人がこういう思いをしてくれたりいいなあとと思いました。 (4年)
- ふう船とばしで、海や山じゃなく、家に落ちてほしいです。命の大切さを少年からお年寄りまでわかってもらって、地球を平和なほしにしたいです。 (4年)
- ぼくたちの班の花は、とてもきれいにさきました、ふうせんがとぶとき、ぼくは思いました。まるで、これが協力だなあと。 (4年)
- 私の班は、まだ花がひとつもさいていなくて、「あー。」といつも思います。でも「がんばろう。」と思います。みんなが、がんばって水をやっているから、私もやらなくちゃと思います。3月や4月には、花いっぱいの花壇にして、6年生を見送りたいです。 (4年)



《「風船を見つけました」のお手紙をいただきました。》

風船につけた手紙が届いた先は、なんと山口県でした。別府市から瀬戸内海を超えてそんな遠くまで飛んで行ったことに、みんなびっくりしました。

そして、手紙を拾ってくれた方からこのような手紙をいただきました。

このお手紙は、着いた日の翌日の児童集会で6年生が全校のみんなにお知らせしました。



風船を拾ってくれた方は、山口県下松市の方でした。地図を見ると、風船が国東半島や瀬戸内海を超えて飛んで行ったことがわかりました。

風船は、小学校3年生の男の子と1年生の女の子が、学校から帰る途中に拾ったそうです。そして、二人のお母さんからこんなていねいなお手紙をいただきました。

また、拾ってくれたのが9日の下校中ということですので、わずか5時間ぐらいで、山口県まで飛んで行ったことに驚きました。

別府中央小学校 6年生 38班の皆様へ。

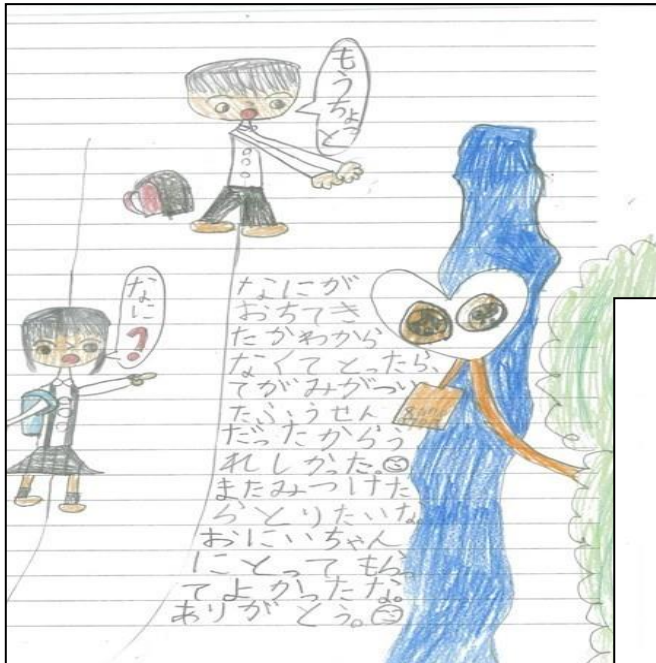
はじめまして。  
山口県下松市●●●小学校の  
3年生男子と1年生女子の母です。

12月9日、水曜日の下校中に2人が  
風船を発見して帰ってきて私の  
目の前で木に引っかかったところを  
3年生の息子がとってました。

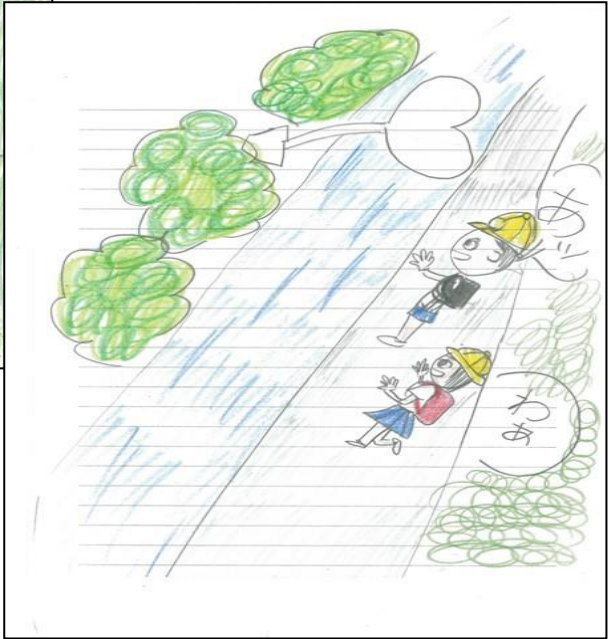
九州の別府市から飛ばさる風によって、  
山口県の下松市まで飛んできたことに  
親子でとても感激いたしました。  
そして学校帰りの2人の前で木に引っかかった  
事に縁を感じました。

素敵な企画をありがとうございました。

寒くなりましたが、お身体に気をつけて  
残りわずか小学校生活を満喫して  
楽しんで下さいね。



二人からもこんなすてきな  
お手紙をいただきました。  
拾った時の様子をくわしく  
かいてくれていました。



手紙のことは、さっそく児童  
集会で全校に知らせしました。  
自分たちが飛ばした風船がち  
ゃんと届くか心配していただ  
けに、「届きました。」の知らせ  
に、全校みんなで喜びました。  
自分たちが伝えたかった「やさ  
しさや思いやりの心」を風船が  
運んでくれ、拾ってくれた人に  
その心が伝わったことがうれ  
しかったようです。



## 8. 「人権の花」運動に取り組んでみて



### 【みんなの感想から】

なかよし班のみんなで、プランターの花を育てました。毎日、1年生から6年生までが交代で水やりをしました。6年生は班長として、毎日みんなが水をあげたか放課後に確認し、できていなかった時は、みんなに声をかけました。

そのおかげで、きれいに花が咲きました。みんなで協力して花を育てることは簡単だと思ったけど、実際に体験してみると意外に大変だと思いました。

私は、この「人権の花」運動で、なかよし班の絆が深まったと思います。なかよし班活動も残り少ないですが、これからもみんなで楽しい思い出をつくっていきたいと思います。  
(6年)

ぼくは、「人権の花」運動があってくれたおかげで、花が大切なものだということがわかりました。むかしのぼくは、「花なんてどうでもいい」と思い、花を傷つけていました。でも、今はその気持ちをなくして、花をしんけんに育てていきたいです。風船とばしをした時に、「だれかに、とどいてくれますように」と祈ってとばしました。もし、とどいてくれたのなら、花を大切に育てて最高の花にしてほしいです。  
(6年)

私はこの1年間、「人権の花」運動を行って思ったことが二つあります。

一つ目は「協力」する大切さです。人権の花は、一人で育てるのではなく、班で協力していくから「人権の花」だと思うし、この1年間で、よりいっそうなかよし班で協力する大切さを学ぶことができました。

二つ目は「命」の大切さです。人間が食べ物を食べるのと一緒で、花にも水やりなどをして栄養をあげないと弱っていくので、班の一人ひとりが毎日いねいに水やりをしました。そのおかげで、きれいな花が咲いたんだと思います。

この「人権の花」をふりかえって気づいたことを、これからの学校生活に生かしていきたいです。  
(6年)

最初は、どんなことをやるのだろうか、疑問に思っていました。でも、なかよし班で花を植えたり育てたりしていると、やっと意味がわかり始めてきました。この「人権の花」運動というのは、日本中・世界中に人権運動が広がってほしいから、風船と種をいっしょにとばすんだ。ぼくたちの風船は、バルーンのように風といっしょにあつという間にとんでいってしまった。

数日後、ぼくらがとばした風船のひとつが山口県で見つかったとわかったの

で、安心しました。無事にとんでいったので、ほっとしました。（6年）

ぼくは、人権の花で学んだことがあります。この花は、しゃべらないし、動きもしない。でも呼吸をしている。ぼくたちが花に水をやることで、この花は生きている。これは人間にも言えることである。ぼくたちは、親がいないところに存在していない。また、親もその親がいないと存在しない。つまり、生き物は、助け助けられながら生きている。だから、ぼくたちは責任を持って一日一日水やりをしていかなければと思った。（6年）

### 【取り組んだ成果】

- 学校が花で包まれることにより、児童はもちろん、保護者や学校に来られる方も心がいやされたようだ。
- 全校みんなでの運動に取り組むことにより、子どもたちみんなが人権について考える機会が増え、人権への意識が高まった。
- なかよし班で取り組んだことで、班内で協力しあう姿や、高学年が低学年をやさしく世話をする姿が多くみられた。
- なかよし班で普段行う清掃活動に加え、この活動をなかよし班で取り組むことで、子どもたちのなかよし班での活動が増え、子どもたちどうしのつながりが深まった。
- この運動を通して、「友だちとけんかをしない」「人の気持ちを考える」「命の大切さについて考える」ということをめあてにする児童が増えた。なかには、自分勝手な行動に気づき、友だちに対してもやさしく接しようとする子どもが増えてきた。
- この運動をきっかけに「命の大切さ」や「世界平和」について考える子どももでてきた。
- 人権授業などを通して、「人がこまっている時は、たすけたほうがいい」と気づき、自分自身心がけるような子どもも増えてきた。また、自分のいいところに気づいたり、他の子どものいいところに気づくことにより、自分を大切にしたり、周りの友だちを大切にしようとしたりするようになった子どもも出てきた。
- 風船を飛ばして、遠く離れた方が拾ってくれたことに驚くとともに、自分たちが育てた種が、また違う場所で花を咲かせることがうれしかったようだ。「世の中は、いろんな人いろんなことでつながっていく」ということを改めて実感できた取り組みだったと思う。

別府中央小学校「人権の花」運動

